

報道関係者各位

2020年6月17日

株式会社マネーフォワード

金融機関とのAPI契約状況について

～『マネーフォワードME』『マネーフォワードクラウド』と連携する125行すべてと契約予定～

株式会社マネーフォワード（本社：東京都港区、代表取締役社長CEO：辻庸介、以下「当社」）は、11の銀行とAPI契約を締結することを決定しました^{※1,2,3}（2020年6月16日時点）。また、2020年9月末日までに、当社が提供する『マネーフォワードME』および『マネーフォワードクラウド』で連携している125行すべての銀行と契約締結^{※1}を予定しています。金融機関をAPI接続で連携することにより、従来よりもさらに高いセキュリティと正確なデータ取得を実現します。

■背景

当社は、お金の見える化サービス『マネーフォワードME』および、バックオフィスSaaS『マネーフォワードクラウド』^{※4}を提供するにあたり、アカウントアグリゲーションという技術を用いて金融機関などのサービスと連携し、口座の入出金情報などのデータの取得を行っています。アカウントアグリゲーションとは、APIまたはスクレイピングを用いて、データの取得を行うことをいいます。

2018年6月に施行された改正銀行法により、金融機関にはAPI公開の努力義務が課されています。同時に、当社をはじめ家計簿や会計ソフトなどを提供する事業者は、電子決済等代行業者として登録を受け、金融機関との間でAPIまたはスクレイピング契約を締結することが求められています。金融庁は、これまで契約締結期限を2020年5月末日としていましたが、4月の新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等を受けて、5月末日までに契約を締結する意向を示していた場合には、契約締結期限を当初の5月末日から9月末日に延長することを発表^{※5}しました。

当社では、ユーザーの皆様に継続してサービスをご利用いただけるよう、契約締結期限の9月末に向けて銀行との契約手続きを進めてまいります。

※1 暫定的なスクレイピング契約および恒久的なスクレイピング契約を含む

※2 API接続予定を含む

※3 スクレイピング契約を含む

※4 『マネーフォワードクラウド会計・確定申告』、『マネーフォワードクラウド経費』が対象です

※5 金融庁：新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた銀行と電子決済等代行業者との間の契約締結に関する対応について

https://www.fsa.go.jp/ordinary/coronavirus202001/press_20200414.html

■API契約またはスクレイピング契約を締結した金融機関一覧（※金融庁銀行一覧に基づく）

- ・ 連携をしている銀行[※]一覧は [こちら](#)
- ・ 連携契約に同意した信用金庫一覧は [こちら](#)
- ・ 連携契約に同意した信用組合一覧は [こちら](#)

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社マネーフォワード 広報担当：稲増、石田 E-mail：pr@moneyforward.co.jp

■株式会社マネーフォワードについて

名称 : 株式会社マネーフォワード

所在地 : 東京都港区芝浦 3-1-21 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 21F

代表者 : 代表取締役社長CEO 辻庸介

設立 : 2012年5月

事業内容 : PFMサービスおよびクラウドサービスの開発・提供

URL : <https://corp.moneyforward.com/>

主要サービス :

お金の見える化サービス『マネーフォワード ME』 <https://moneyforward.com/>

バックオフィスSaaS『マネーフォワードクラウド』 <https://biz.moneyforward.com/>

※記載されている会社名および商品・製品・サービス名(ロゴマーク等を含む)は、各社の商標または各権利者の登録商標です。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社マネーフォワード 広報担当 : 稲増、石田 E-mail : pr@moneyforward.co.jp